



東日本大震災から10年が過ぎて...

千葉地本組織部は10月7日～8日にかけて

陸前高田市と気仙沼市を訪れた...



※実際に津波がこの高さまで来た。

津波の実際の高さを目の当たりにして、ここにいたら考えたら寒気がした...



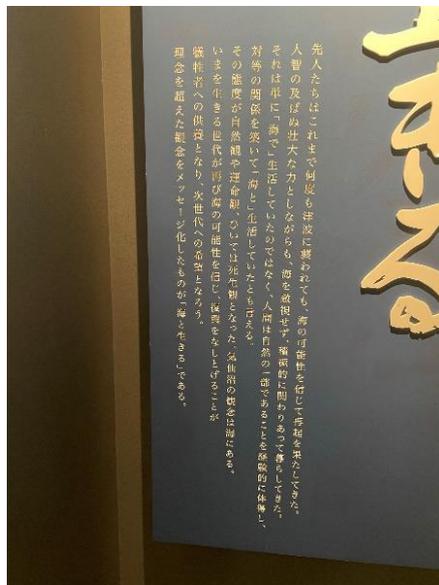
三陸は過去、何度も津波被害にあいながら生活していたが、変貌し多くの命が奪われた。だからこそ助けが必要だと感じた。

「100回逃げて空振りでも101回目も逃げて」という言葉は何度失敗してもいい。命を失ったら帰ってこない。命が助かればやり直せる。

「てんでんこ」は方言で「各自で」という意味「人間は正常性バイアス（これくらいなら大丈夫）や同調性バイアス（みんなと一緒にだから大丈夫）が働く」ので迷わずすぐに避難する意識を持つ

現状、横のつながりが希薄になり、個人主義でもいいという社員が増えている。想像を超える災害はこれからも起こりうる。いざというときにとっさに判断し、行動するには備えはもちろん日ごろから相互に支えあい、助け合わなければいけない。

コロナでマスコミの報道もそればかり。10年たっても復興は進んでいない、10年という節目でも復興について取り上げるところも少ない。現地の方は「一応、復興は終わりました」と話し、復興途中だがコロナにシフトしてあきらめ感が出ていた...



三陸へ訪れた10月7日に千葉県を震源とした大きな地震があったが、夜遅い時間に無理に帰宅する人が多く、東日本大震災の教訓が活かされていなかった...